

ハノーバー大学大学院生のインターンシップ修了式を挙

岐阜高専は、平成 24 年 9 月にドイツのハノーバー大学(Leibniz University of Hannover)数学・物理学部と包括的な交流協定を結んで以来、国際セミナーへの教員の相互参加などの学術交流に加えて学生の交換を推進しています。平成 27 年度も JASSO の支援を受けて、7 月 27 日～8 月 7 日までの約 2 週間、気象・気候学科の 3 人の大学院生を岐阜高専環境都市工学科・建築学科の研究室に配属し、教員の指導の下で研究室の学生と共同調査等を実施しました。また、都市大気境界層内の乱流や雲生成の LES による解析的研究の紹介とともに、ドイツの大学生生活、グローサーガルテンなどを持つ美しい都市ハノーバーに関する紹介も行い、岐阜高専の学生にとって、とても良い刺激となりました。ハノーバー大学に派遣される 2 名の岐阜高専専攻科生にとっても、良い事前交流となりました。



北田校長から修了証を受ける
ヨハネス・シュベンケル



ハノーバー大学大学院生のインターンシップ修了式。左から、岐阜高専・羽瀧国際交流室長、北田校長、ハノーバー大学学生、環境都市工学科渡辺講師、建築学科清水准教授。